

総括質疑

3月定例会では、4人の議員が会派を代表して令和5年度予算に対する総括質疑を行いました。

「選ばれるまちづくりに向けての内容について」



創政会 大垣 真一

Q 令和5年度予算案は、選ばれるまちづくりの大事な一歩として、まちづくりに弾みをつける内容さらには、総合計画に位置づける事業を中心に、創意と工夫を凝らした内容とあったが、その内容について聞きたい。

A 【市長】 第6次総合計画前期基本計画に基づく実施計画では、計画初年度である令和5年度からの3年間において、特に優先的、重点的に取り組む事業を重点事業として位置づけている。予算編成に当たっては、当該重点事業へ十分な予算を配分するよう努めた。実施計画に計上した重点事業に優先的に取り組むことで、いせはら元気創生戦略の4つの基本目標の達成に資することにつながり、選ばれるまちとして、効果的な財源確保が図られたと捉えている。そして、重点事業の計上に当たっては、優先

施政方針並びに予算編成大綱について



いせはら未来会議 相馬 欣行

Q 市長は、施政方針および予算編成大綱の中で、令和5年度は、今後10年間のまちづくりを開始する大変重要な年であり、本市を取り巻く環境の変化を追い風として、新たな一歩を着実に踏み出すと述べているが、予算編成に対する見解について聞きたい。

A 【市長】 本市が直面する課題は山積しており、将来を考えると、社会環境の変化を追い風として、人口の維持、歳入の増収に向けた布石を打たなければならないとの思いで予算編成に臨んだ。10年先、それ以上先までを見通し、将来の投資にも配慮した結果、第6次総合計画を着実に進めていくことに重点を置いた



総括質疑とは、本会議で市長（執行機関）に対し、一般会計予算、特別会計予算および公営企業会計予算について総括的に疑義を問うことをいいます。予算や決算の議案内容は膨大なため、総括質疑の後、3つの常任委員会ですべての議案について、より具体的な審査を行っています。

予算とした。個々の取り組みで得られた効果が、計画全体の推進へとつながり、市民に暮らしやすさを実感していた。だくとともに、人口の将来展望の実現につながるかと考えている。施策によつては、暮らしやすさとして実感が得られるまで時間を要するものもあるが、投資効果も図りつつ、子育て施策の充実、地域経済の活性化などを通じ、全力で取り組んでいく。

Q 市長は、施政方針および予算編成大綱の中で、令和5年度は、今後10年間のまちづくりを開始する大変重要な年であり、本市を取り巻く環境の変化を追い風として、新たな一歩を着実に踏み出すと述べているが、予算編成に対する見解について聞きたい。



公明党 中山真由美

第6次総合計画・実施計画に位置付ける重点事業の取組について

Q 習慣化アプリ行動変容支援事業では、食生活改善記録アプリを導入し、幅広く展開していくとのことだが、高齢者の中にはアプリを使用できない方もいると思うが、その場合の対応について聞きたい。

A 【健康づくり担当部長】 従来型の健康相談・教育事業では、参加者の多くが65歳以上であったため、習慣化アプリ行動変

容支援事業では、65歳未満、特に従来型の事業への参加が少なかつた40歳から50歳代までが参加しやすいプログラムを設定して、実施したいと考えている。高齢者の栄養面は、壮年期までと異なり、低栄養予防などが優先の課題となる。高齢者への対応については、保健事業と介護予防の一体的事業における低栄養防止事業やフレイル予防事業などを通じて、管理栄養士が訪問や対面、また、電話などによる個別相談で支援をしていく。

Q 41年ぶりの物価高騰、前年比4.2%の物価上昇、今後さらに値上げが報道されている。電気代、ガス代、上下水道料金のさらなる値上げも予想される。こうした中、市民の暮らしの厳しさをどう認識しているか、対応していくか聞きたい。



日本共産党 宮脇 俊彦

市民の暮らしの状況と中小事業者の状況認識と市の対応について

A 【市長】 働く環境や理

由が、人によりさまざまであるので、数字のみで判断することは難しいと考えるが、依然として厳しさはあるものの、所得状況には改善傾向が見られると認識している。また、生活保護制度については、この3年間、受給者数は微増で推移しているが、相談者数は令和2年度、3年度に比べると大幅な減少が見込まれ、コロナ禍で停滞していた企業活動や経済活動が一定の回復傾向にあることが一因と思われる。市民の収入等の状況は改善傾向にあるとかがえる。市としては、困窮する

市民が必要なサービスを受けられるよう、きめ細やかな相談体制等に努めるとともに、各種給付金の支給など、国、県の施策に適切に対応し、社会保障施策を継続していく。

本会議はインターネット中継でも御覧いただけます。

市議会の詳細はHPをチェック!

伊勢原市議会 検索

令和5年度 議会費予算

今年度の議会費予算の概要は次のとおりです。市の一般会計（歳出）に占める割合は約1%です。

区分	金額	主な内容
報酬	1億611万6千円	・議員報酬
給料	2,841万円	・職員給料
職員手当等	6,509万1千円	・議員期末手当 ・職員諸手当
共済費	4,253万2千円	・議員共済費 ・職員共済費
報償費	3万9千円	・各種行事等議長賞
旅費	180万9千円	・所管事項調査旅費 ・普通旅費
交際費	38万5千円	・議長交際費
需用費	342万5千円	・議会だより印刷代 ・図書追録代
役務費	541万6千円	・議会だより配布手数料 ・会議録反訳料
委託料	497万9千円	・インターネット映像配信システム管理運営
使用料及び賃借料	529万9千円	・インターネット映像配信設備賃借料 ・議会用タブレット端末等賃借料
負担金補助及び交付金	551万7千円	・政務活動費交付金 ・議長会等負担金
合計	2億6,901万8千円	

令和5年度各会計予算総括表

会計名	予算額	対前年度伸率(%)	
一般会計	353億2,200万円	1.8	
特別会計	国民健康保険事業	96億6,100万円	-0.9
	用地取得事業	1億2,200万円	0.0
	介護保険事業	80億3,900万円	1.5
	後期高齢者医療事業	16億1,900万円	5.5
公営企業会計	公共下水道事業	63億7,300万円	4.0
合計	611億3,600万円	1.6	